

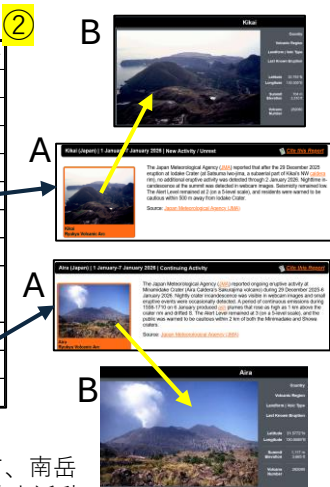


毎週水曜日夜に更新されるスミソニアン/USGS 週間火山活動レポートは、衛星データ活用の重要な情報源です。①
最近このレポートの日本関係のレポートを読み返したことがあります。2026年1月1日～1月7日までの週の火山活動レポートを例にします。

* 原文を表にしました。②
掲載されている24件の内日本関係は3件です。アイラ・キカイ・諏訪瀬です。これまで、勝手に「桜島・薩摩硫黄島・諏訪之瀬島」と思い込んで見過ごしていました。「喜界島」が加わったのかと。喜界島はサンゴ礁の島です。「おや」とやっと気づきました。
サイトでは火山名を名前をタップすると各火山の速報情報Aが表示されます。サイトでAの火山写真をタップすると各火山の位置情報や過去の情報Bが表示されます。

スミソニアン/USGS 2026年1月1日～1月7日 週間火山活動レポート

名前	国	火山地域	噴火開始日	報告開始
アンパエ	バヌアツ	バヌアツ火山弧	2025 Nov 24	新規
アンブリム	バヌアツ	バヌアツ火山弧	—	新規
ブル・ニ・テロン	インドネシア	スンダ火山弧	—	新規
エトナ	イタリア	シチリア火山地域	2022 Nov 27	新規
キカイ	Japan	琉球火山弧	—	新規
マサヤ	ニカラグア	中央アメリカ火山弧	2015 Oct 3	新規
マヨン	フィリピン	東フィリピン火山弧	—	新規
ビトン・ドラ・フル	フランス	レユニオン・ホットス	—	新規
ネーズ	フランス	ポット火山群	—	新規
サバンカヤ	ペルー	中央アンデス火山弧	2025 Sep 13	新規
アイラ	日本	琉球火山弧	2017 Mar 25	継続
グレート・シトキン	アメリカ	アリユージャン列島火山弧	2021 May 25	継続



＊諏訪瀬を省略し11火山のみ掲載
A情報→アイラ(日本)2026年1月1日～1月7日

気象庁は、2025年12月29日から2026年1月6日にかけて、南岳クレーター(アイラ・カルデラの桜島火山)で継続的な噴火活動が続いていると報告した。以下略

A情報→キカイ(日本)1月1日～7日

気象庁は、2025年12月29日に発生した硫黄岳火口(鬼界島北西カルデラ縁の陸上部、薩摩硫黄島)の噴火後、2026年1月2日まで新たな噴火活動は確認されなかったと発表した。以下略

B情報→アイラ

北緯31.5772度 東経130.6589度
1,117m 火山番号282080 以下略

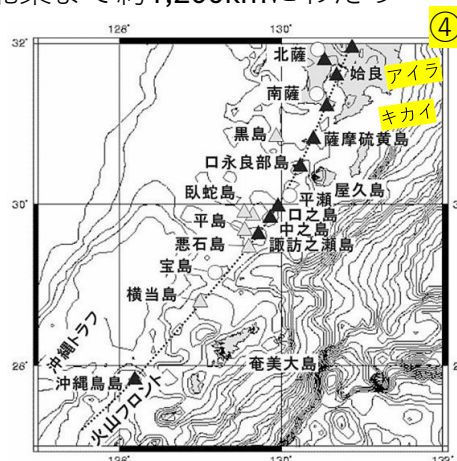
B情報→キカイ

北緯30.793度 東経130.305度
704m 火山番号282060 以下略

「アイラ」「キカイ」が位置する琉球火山弧(こ)とは、九州の霧島火山から南へ桜島、開聞岳へと続き、トカラ火山列の南端の硫黄島、そして台湾の北東まで約1,200kmにわたって連なる琉球列島に沿って形成された火山活動を伴う火山が連なった島々です。

③の資料をよむと、桜島を「アイラ」、薩摩硫黄島を「キカイ」と表記していることが伝わってきますね。桜島火山はアイラカルデラの南の縁付近、薩摩硫黄島はキカイカルデラの北の縁付近の島です。

みなさんは、「アイラ」や「キカイ」がずっと入りますか。



鹿児島市ウェブサイト→

桜島の成り立ち
約2万9千年前に現在の鹿児島湾の奥部にあたる位置で巨大噴火が発生し、始良(アイラ)カルデラが形成されました。そのおよそ3千年後にこの始良カルデラの南端から新たに始まった噴火活動により桜島が誕生。

始良カルデラ

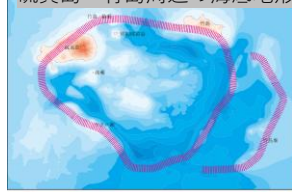


https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikika/nri/kazan/sakurajima_no_naritachi.html

薩摩硫黄島情報→

薩摩硫黄島は巨大なキカイカルデラ外輪山の一部です。キカイカルデラの約7300年前の噴火は、九州南部に極めて大きな影響を与えたと考えられています。国土地理院の1/10,000火山土地条件図「薩摩硫黄島」に調査結果が報告されています。

硫黄島・竹島周辺の海底地形



カルデラ壁
(町田ほか編、2001による)

<https://www.gsi.go.jp/common/000109847.pdf>